

# 立西巻き



尼崎市立立花西小学校  
2026.6.18 (木)  
No.13

～ 校長先生つぶやき、つぶやく（校長だより）～

## 「茶色い木はないんだよ。」

これは、森の名人の言葉です。

「地球、さようなら～」と言って、体験したツリーイング。  
木からぶらさがって見た景色。子どもたちには何が見え、  
何を感じたでしょうか。

「五感のスイッチを入れるんだよ。」とアドバイスをいただき  
目や耳など身体ごと、自然を受け留めたあの時間と空間。  
「心」という第六感も働いたことは間違いありません。



6月8日(月)から12日(金)までの4泊5日。5年生が自然  
学校に出かけました。兵庫県の子どもたちは、みな、この事  
業に参加します。全国でも珍しい取り組みとなっており、尼  
崎市は、市の施設「美方高原自然の家とちのき村」に出向  
きます。この施設は、一般の人でも利用できる施設となってお  
り、私自身も我が子連れ、雪山でのかまくらづくりやス  
ノーシューハイキングをしました。尼崎市と同じ兵庫県とは  
思えない大自然が広がります。

自然学校では、子どもたちにつけたい力に拍車がかかります。  
学校では見ることができない子どもたちの姿があり  
ます。

- ① 出会いを大切に
- ② 自然の偉大さを知る
- ③ 協力、役割を果たす
- ④ 共生・創造する
- ⑤ 出会いに感謝する

これら5つのめあてが  
達成されていきます。



はじめて、こんなに長期に親元を離れることに不安を覚え、  
ホームシックにかかる子もいます。仲間や先生、リーダーの  
励ましに支えられ、お家の人への感謝の思いが募ることも  
間違いなかったでしょう。

2日目に体験した  
沢登りでは、雨も降って  
いないし、レインコート  
も来ているのに、なぜか  
パンツまで濡れて大騒ぎ。



ようやくたどり着いた三反滝では、山奥で流れ落ちてくる  
大滝の偉大なる美しさに息をのみ、滝に向かって手をあわ  
せ、目を閉じ、祈る子どももいました。何を思い、何を祈っ  
たのでしょうか。

薪を切ることから始め、火を  
飯盒で炊いたご飯。美方  
の澄み渡った水と空気で育  
ったお米は非常に美味しか  
った上に、立西農園ボランティアのびのびさんが持たせて  
くださった「立西たまねぎ」入りの豚汁に愛情も感じ「先生、  
こんなに美味しい豚汁、はじめて!!」ときらきらと輝く瞳と  
言葉が印象的でした。仲間と一から作った協力豚汁に、こ  
のあとの活動への強力なパワーが子どもたちに蓄えられ  
ました。



## 「ありがとうをいっぱい集めましょう。」

指導員の方からあった言葉です。キャンドルライトサービス  
での1本目から始まる灯が、次々と仲間に渡っていき、各々  
の思いが広がり、明るさも増しました。関わってくださった  
人々へのありがとうの思いもたくさん  
集まったことでしょう。

ご準備くださった保護者の皆様  
には、大変、感謝申し上げます。

今後も学校とご家庭がタッグを  
組んだ指導と支援を続け、日頃から、自分のことは自分で  
できる「自立」におけた取り組みを大切にしていきたいと  
考えます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

